

社会性報告

お客様とともに (1)

お客様の満足と信頼を第一に、お客様の期待に応えた製品・サービスなどの提供に努めています。

製品開発

澤藤電機の開発部門は、持続可能な社会に貢献するために環境性能や電子化を軸とし、ニーズに応えた製品の開発にチャレンジし続け、トラック・バス用電装品、発動発電機、車載用冷蔵庫の分野で業界No.1の地位の確立と発展に邁進しています。



開発品の性能評価

開発プロセス

お客様に信頼していただける製品をお届けできるように企画を立て、本当に満足していただける性能・信頼性・価格なのか、厳しくチェックしながら開発を進めています。

商品企画・原価企画

お客様のニーズにマッチしているか信頼性や価格が妥当か確認します。

設計および設計評価

企画通りの性能と信頼性を満足できる設計なのか検証します。

試作および実験評価

企画通りの性能と信頼性を満足しているか実験結果より検証します。

量産試作移行評価

企画通りの製品をお客様にお届けできるのか、性能・信頼性・環境影響・価格などについて、総合的に評価します。

段取確認および評価

量産工法による段取り確認を行い、問題があれば直ちに是正を行います。

量産試作および評価

量産工法による量産同等の試作を行って、問題がないことを確認します。

量産移行

企画通りの製品が継続して量産できるか、関係者で厳しくチェックを行います。

お客様のお手元へ

モノづくり

澤藤電機は、お客様に感動を提供できるモノづくりをめざして、日々挑戦しています。

その基本は『お客様の満足』の考え方のもとに、モノづくりに必要な「人・物・金」の資源を有効に活用することで、社会への貢献、環境との共生に努めています。

具体的には、「必要なものを、必要なときに、必要なだけ提供できる仕組みづくり」や「異常で止まるラインづくり」、さらに「徹底したムダの排除による原価低減」などの改革、改善を推し進めています。

また、一人ひとりが『自ら考え、自ら行動する』ことをめざして、「サワフジ小集団活動」「組長3Sコンクール」「改善提案」「品質講話」「安全・品質唱和」などの諸活動を展開し、職場の活性化に努めています。



発電機組み立てライン



組長3Sコンクール



安全活動

お客様とともに (2)

品質保証の取り組み

基本的な考え方

澤藤電機は、品質は企業にとって最重要と位置付け、弱点の認識とTQMにより全社一丸となって改革推進に取り組んでいます。お客様の声を主体とした品質改善活動を展開するにあたり、「お客様が満足する品質を提供する」を基本方針としています。また、モノづくりに携わっている者として、「よい仕事を通して、よい製品をお客様に提供することを第一に」品質改善活動を展開しています。

- 1) 業務品質の向上
業務品質の見える化で、ムダ・ロスの撲滅を図る。
- 2) プロセス重視
業務プロセスの改善で、レベルアップを図る。
- 3) 標準化
業務の標準化で、お客様が満足する商品を継続的に提供する。

品質保証体制(1996年 ISO9001 認証取得)

澤藤電機は、品質保証体制を確立し、お客様に満足していただける品質の良い製品を提供するための取り組みを日々行っています。

新製品の品質保証では、お客様の声を主体とした製品を作るために、商品企画・デザインレビュー・信頼性評価試験・技術評価・先行生産評価・量産評価を行い、品質が適正に確保されているか検討・審議しています。



電子顕微鏡(SEM)による評価部品のミクロ観察

サービス体制と質の向上をめざして

製品不具合への対応

澤藤電機は万一、製品に不具合が発生した場合、全国に8社10拠点ある代理店、246社ある特約店で構成されるサービスネットワークにて、速やかに対応する体制を整えています。また、海外向けの冷蔵庫・発電機についても同様に対応しています。

■ 製品に関するお問い合わせ件数

(件)

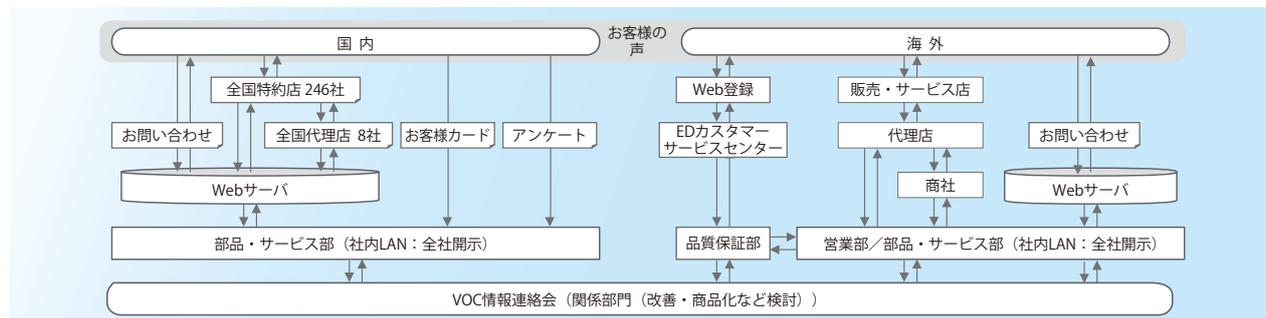
製品	2013年度	2014年度		2015年度	
		国内	海外	国内	海外
電装品	96	93	59	70	63
冷蔵庫	112	150	89	179	103
発電機	40	31	530	55	575
市販品	4	4	—	2	—
その他	69	89	10	93	48
計	321	367	688	399	789

お客様の声を生かす社内体制

お客様から寄せられる要望や意見を集約して製品・サービスに反映するとともに、各国拠点および全国代理店・特約店様を通じてのクレーム処理や技術情報などについても迅速・適切な対応ができる体制を整えています。Webからの「お問い合わせ」や、製品に添付している「お客様カード」、展示会でのアンケートなどから、お客様がより満足できる製品となるよう、営業・サービス・開発・品質保証などの関係部門がVOC(お客様の声)情報連絡会を通して改善を行っています。

また、お客様の個人の権利・利益を保護し、ご提供いただいた情報を適法かつ適正に取り扱うために、規程類を整備し、プライバシーポリシーを公表するなどの取り組みを行っています。

■ お客様の声を生かす社内体制



地域社会とともに (1)

社会への参画・貢献、環境への配慮の側面から地域社会・国際社会に貢献します。

社会貢献活動の考え方

- CSRの観点から広く社会に貢献する。
- 地域との良好な関係を維持し、共生を図る。
- 地域の一員として、住民とのコミュニケーションを深め、地域に役立つ活動をする。

社会貢献活動

地域イベントへの参加

澤藤電機は、地域の皆様との交流を深めるため、地元太田市の近隣地区で開催されている花火大会やお祭りなどに協賛しています。

また、自社製品の特色を生かした地域貢献として、地域のイベントへ自社製品（発電機・冷蔵庫）の貸し出しを行い、ご好評をいただいています。2015年度は、近隣のお祭りや太田市主催のイベントへ発電機・冷蔵庫の貸し出しを行いました。



太田市主催のイベントにて
会場内への電力供給 (ELEMEX SHX7000DS)

地域美化活動

近隣の日野自動車株式会社 新田工場の工長会と合同で工場周辺および近くの早川公園の清掃を毎年行っています。



早川公園周辺清掃活動 (2016年5月)

推進体制

社会活動推進委員会の事務局を総務人事部におき、「社会貢献活動」の考え方に基づく計画立案・推進活動を行っています。

エコキャップ活動

2008年8月より、ペットボトルキャップを分別回収することにより再資源化を促進するとともに、売却益で世界の子どもたちにワクチンを届ける活動に参加しています。

集められたキャップはリサイクル業者により、樹脂パレットなどに再生利用されています。キャップの焼却をしないことにより、CO₂の発生抑制にも寄与しています。

活動をはじめてからの8年間で届けることができたワクチンは1,148名分となり、累計のCO₂削減量は7,237kgになりました。

■ ワクチン提供人数、およびCO₂削減量

年度	2013	2014	2015
人数 (名)	145	146	136
CO ₂ (kg)	916	917	862

日本赤十字社への献血協力

社員による献血活動として、1976年から赤十字血液センターに協力をしており、現在に至る40年間で献血者数は延べ5,914名となりました。

年度	2013	2014	2015
献血者数 (名)	46	93	90



献血車内での献血の様子

地域社会とともに (2)

おおた・まちの先生 見本市出展

太田市内小学校体育館において、「第6回 おおた・まちの先生見本市」が開催され、澤藤電機も出展しました。この行事は行政や地域の企業、ボランティア団体が「先生」となり、子どもたちが環境やものづくり、ライフスタイルなどについて学ぶ場として実施されています。澤藤電機は、手回しでの発電体験のほか、冷蔵庫「ENGEL」を展示しました。また、発電機「ELEMAS SHX7000DiS」1台を屋外に設置し、会場内への電力供給を行いました。(2015年11月)



澤藤電機の
展示ブース

福祉施設 ボランティア活動

日野自動車株式会社 新田工場の工長会と合同で、近隣の福祉施設の環境整備のボランティア活動を行っています。蛍光灯の清掃や植栽の剪定などのお手伝いを通じて、利用者の方々とのコミュニケーションを図っています。



剪定作業
(2015年7月)

ぐんまふれあいフェスティバル in 太田

連合群馬が県内12カ所で主催する地域の方々との交流や社会福祉協力を目的としたイベントに、会社と労働組合が合同で参加しました。イベントでは、かき氷の販売と冷蔵庫、発電機の展示・販売を行いました。

(2016年5月)



イベント風景
(太田市新田陸上競技場)

交通安全ボランティア

2011年より交通事故防止・撲滅に向け、会社付近の交差点で街頭監視の活動を実施しています。ドライバー、通行者に対して交通安全への意識づけを図っています。

2016年度、太田警察署および太田商工会議所よりその活動に対する表彰状をいただきました。



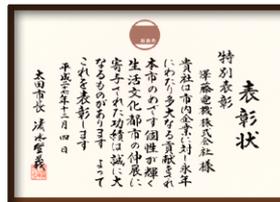
交差点での街頭監視活動



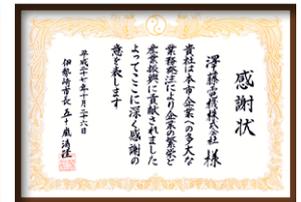
地域産業への貢献

地域産業に貢献していることが評価され、太田市、伊勢崎市よりそれぞれ産業振興貢献企業表彰をいただきました。

太田市は7度目、伊勢崎市は5度目の受賞となりました。



太田市産業振興貢献企業
表彰状



伊勢崎市産業振興貢献企業
感謝状

関連団体への参加

事業活動に関連する団体に会員として積極的に参加し、情報の共有化を図っております。

- 一般財団法人 地域産学官連携ものづくり研究機構
- 一般社団法人 群馬県経営者協会
- 一般社団法人 電気学会
- 一般社団法人 日本経済団体連合会
- 一般社団法人 日本自動車部品工業会
- 一般社団法人 日本電機工業会
- 一般社団法人 日本陸用内燃機関協会 など

(五十音順)

株主・投資家様とともに

長期安定的な成長を通じ、企業価値の向上をめざします。

企業価値向上について

澤藤電機は、株主重視・顧客満足・社会貢献を実現するために、コンプライアンス、製品の安全、環境保全、安全・防災活動を含むリスク管理の徹底、内部統制体制の充実、企業倫理の向上、優秀な人材の確保と教育強化、社会貢献活動および適時適切な情報開示などに努め、企業価値向上を図っています。

IR 情報について

澤藤電機は、株主や投資家の皆様に対し、事業活動の内容を、適時適切に開示することにより、当社に対する正しい理解を深めていただくことが重要であると考えております。

IR (Investor Relations) 活動の一環として、決算発表時に公表している資料とは別に、当社の活動について幅広くご理解いただけるように、当社の環境活動や新製品などのトピックスを掲載した株主通信を年2回、株主様にご送付させていただいております。

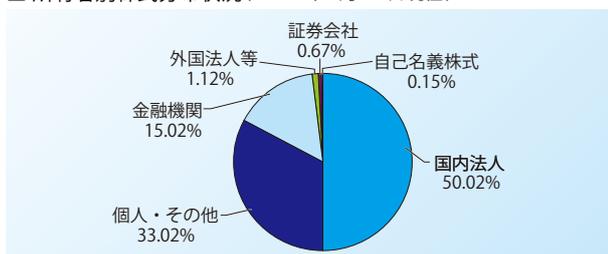
最新の決算情報、過去の報告書・財務データやIRスケジュールは当社ホームページ「投資家情報」のページに掲載しております。

■ 大株主[上位10位] (2016年3月31日現在)

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
日野自動車株式会社	6,535	30.29
株式会社デンソー	2,000	9.27
本田技研工業株式会社	1,300	6.02
株式会社三井住友銀行	600	2.78
澤藤電機従業員持株会	598	2.77
株式会社りそな銀行	500	2.32
株式会社三菱東京UFJ銀行	400	1.85
三井住友信託銀行株式会社	300	1.39
三井住友海上火災保険株式会社	200	0.93
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	161	0.75

(注) 持株比率は自己株式(32,215株)を控除して計算しております。

■ 所有者別株式分布状況(2016年3月31日現在)



代理店・特約店様とともに

信頼関係を築き、相互の発展・向上をめざします。

代理店・特約店様との協力

澤藤電機は、代理店・特約店様のネットワークを活用して、市販品、パーツ販売、市場情報収集、サービス体制構築などを行い、あらゆるシーンで代理店・特約店様とともに社会的な責任を全うするよう努めています。

コミュニケーション

2015年度は、全国10拠点で会議を開催し、方針説明、コミュニケーション強化に努めました。

また、代理店・特約店様のサービス力強化のために、技術講習会も開催しています。



サービス技術講習会

■ 澤藤サービスネットワーク(2016年4月1日現在)

